

鴨川小学校だより

令和4年9月1日第15号（保護者の皆様へ）

一人一人がさらに成長する2学期に！

42日間の夏休みが終わり、今日から2学期がスタートしました。静かだった鴨川小に、再び子どもたちの元気な声が響きます。やはり、学校の主役は、子どもたちだと改めて思います。

コロナ禍ではありますが、子どもたちは、夏休みだからこそできる体験やチャレンジを通して、思い出づくりをし、達成感を味わえたことでしょう。皆様には、大きな事故もなく、無事に2学期を迎えられたことにお礼を申し上げます。

夏休みの楽しい思い出を胸に2学期に臨む子どもたち。しかし、長い休みのあとで、なかなか生活リズムを戻すのが大変だったり、中には、気が重かったりする子もいることでしょう。これは、大人でも子どもでも抱く自然な気持ちです。子どもが後ろ向きな言葉を口にしても、まずは受け止めて、「でも、2学期だからがんばってみようか。」と後押ししていただければと思います。そして、生活のリズムに戻すには、体のリズムを戻すことです。それには、「早寝・早起き・朝ごはん」が一番です。安定した生活リズムが気力と体力を生み出します。皆様のご協力をお願いいたします。

「失敗」と書いて「せいちょう（成長）」と読む—これは、一昨年2月に亡くなられた、元プロ野球監督の野村克也さんが紹介されている言葉です。子どもたちはまだ成長の途上であり、当然失敗をすることも多々あります。例えば、自分は悪気がなくても、ちょっとした言動で友だちを傷つけてしまうことがあります。しかし、その時に、何がいけなかったのか、今後どうしていけばよいのかを一緒に振り返ることで、子どもは相手の立場に立って考える術を学ぶことができます。また、学習や学校行事において、目標を立てて努力したのに、思うような結果を得られないこともあります。そのような場合、大事なものは結果ではなく、挑戦した事実であり、努力したことの一つも無駄はないことを確信をもって伝えてあげることによって、子どもたちはまた、新たな目標に向けて歩みを進めることができます。失敗を決して悪いものと考えのではなく、むしろ成長のチャンスと捉え、子どもたちと日々向き合っていく営みを大切にしていきたいと考えています。

1年で一番長い2学期の、子どもたちの成長を期待しています。私たち教職員も力を合わせて、子どもたち一人一人に寄り添い、子どもたちが達成感や充実感を味わい、自分の良さや成長を感じられる2学期になるよう指導・支援していきます。2学期も、ご支援とご協力のほど、よろしくをお願いいたします。

※これまでもお願いしてきましたが、児童の体調不良時や同居のご家族に

発熱・風邪等の症状が見られる場合、登校を控えるようにしてください。登校後に体調不良が見られた場合は連絡をさせていただきます。また、日々の健康チェック「元気アップ大作戦」へのご協力も引き続きお願いいたします。

※9月を迎え、感染防止対策はもちろんのこと、熱中症等に十分配慮しながら、スポーツ大会の練習等、教育活動を進めていきます。各家庭におかれましても、お子様の体調の管理を改めてお願いいたします。また、これまで同様、熱中症予防のために、十分なお茶の用意もお願いいたします。

※愛校園作業では大変お世話になり、ありがとうございました。

（校長 福井 明）

